

グリーン・ツーリズム実践者の相互交流について

平成25年12月24日

農林水産部農業基盤整備課

1 趣旨

グリーン・ツーリズムは、農山漁村に滞在して農林漁業体験やその地域の自然や文化に触れ、地元の人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のことで、高齢化や過疎化の進む農山漁村地域の活性化の取組として注目されている。

三重県と久慈市は、農山漁村地域の活性化に資するグリーン・ツーリズムの推進を図っており、互いのグリーン・ツーリズム実践者（以下、実践者）が相互訪問し、それぞれの取組内容を勉強し交流を深め、互いの取組内容の質的向上や、地域間の伝統文化の交流を促進させ、さらなるグリーン・ツーリズムの拡大と推進を図るため相互交流を実施した。

2 取組内容

□久慈市の実践者を招待

日程：平成25年10月22日～23日

概要：『第2回三重県グリーン・ツーリズムネットワーク大会』に久慈市の実践者4名と市職員2名を招待し、三重県のグリーン・ツーリズムを体験してもらうとともに、県内実践者との情報交換を行った。また、久慈市職員1名にパネラーを依頼し、パネルディスカッションにおいて、久慈市の取組紹介や意見交換を行った。

□三重県実践者の久慈市訪問

日程：平成25年12月18日～19日

概要：三重県の実践者2名と事務局（県職員）1名を久慈市に派遣し、実施取組の体験及び調査を行うと共に、久慈市の実践者との交流を行った。また、久慈市の実践者のネットワーク等について実態調査を行った。

3 成果

今回の相互訪問・交流によって、久慈市の実践者の取組内容や都市への情報発信等について情報交換を行うことができた。今後も、三重県と久慈市の実践者間の情報交換の継続や、取組のPR及び地域産品の相互販売などに取り組み、グリーン・ツーリズムの質的向上を図っていきたい。

また、久慈市の実践者ネットワークに関する調査結果を参考に、実践者ネットワーク構築の推進を図る。